



校長室だより

校長 山崎 聡子

コミコミスクール

11月14日(木)と15日(金)に、コミコミスクールを行いました。保護者の皆様の他に、地域の方々にも学校を公開し、学校の様子を知っていただく機会とさせていただいております。幼稚園の先生方も来校してください、成長した子供たちの様子を見ていただき、子供たちも励みとなったことと思います。

体育から戻ってきた6年生が、参観に来られていた皆様に「こんにちは。」と元気に挨拶をしているところを見かけました。6年生に挨拶された方々が、「きちんと挨拶ができて、すばらしい。」とおっしゃっていました。児童会があいさつ運動を始めてから、挨拶する人たちが増え、元気な挨拶の声が多くなってきていました。また、毎朝登校してくる友達に挨拶をしている子供たちもいます。そのような中、外部の方が来られた時にも取り組んできた挨拶を活かしていることをうれしく思います。挨拶をされて嫌な思いをする人はいません。挨拶は、相手に心を開くことであり、相手の存在を認めていくものです。これからも大切にしていきたいと思います。

コミコミスクールに合わせて、第4回学校運営協議会も開催いたしました。委員の皆様には、各クラスの授業を中心に参観していただきました。参観後は、学校をよりよくしていくために委員の方々からのご意見をいただく時間を設けました。その中で、子供たちが落ち着いて学習に取り組んでいるという、うれしい言葉をいただきました。また、子供たちが授業に集中できるよう、教員が授業の工

夫をしているという温かい言葉もいただきました。さらに、昔とは授業スタイルが異なっているというお話をいただきました。自分たちが子供の頃は、先生が一方向的に黒板に書きながら説明をして、それをただノートに写していく授業であったけれど、子供たちが友達と意見を交換し合ったり、課題に対して一人一人が自分で考えをまとめたりしていて、とてもよい授業に変わってきているというお話をいただきました。「授業を教職員間で見合う機会はあるのか。」という質問もありました。学校として、校内研究を大切に位置付けていること、校内研究のテーマ「ともに学び合い みんなで高まる授業～それぞれの学びをみんなの学びに みんなの学びをそれぞれの学びに～」をもとに、低・中・高学年ブロックからそれぞれ一クラスと支援学級の合わせて四クラスが授業を公開し、教職員全員で授業を見て協議を行い学びを深めていることを伝えました。また、子供が主語になる授業 互惠関係を大切にしていく授業を目指し、歩みを進めていることも伝えました。一人一台端末を活用している姿や端末を活用して作成されたポスターも見ていただき、端末を使うことができる力が子供たちについているのではないかと、端末の活用で学びの広がりにつながっているのではないかとという御意見もいただきました。合わせて、教職員の端末活用の推進や施設の老朽化に関すること等、貴重な御意見もいただきました。

最後になりますが、寒さが厳しい中、PTAの方々を受付を担ってくださいました。いつも学校を支えてくださりありがとうございます。感謝申し上げます。